

市民ワークショップ

令和元年10月27日(日)に市役所本庁舎で第1回市民ワークショップを開催しました。

Program 1 副市長あいさつ

本日は、新庁舎整備基本計画策定のための市民ワークショップにご参加いただき、誠にありがとうございます。

現在、市では新しい庁舎の整備に向けて検討を行っており、昨年度には基本構想を取りまとめ、『市民に開かれた、安心と希望へつながる庁舎』という基本理念を掲げさせていただきました。

市役所の本庁舎が建設されたのは、私が生まれた年と同じ昭和33年で築61年が過ぎています。大きな地震が発生しても大丈夫なように耐震補強はしてありますが、使い勝手の面で不具合が多く出てきていますので、基本理念で示した庁舎を目指して整備していきたいと考えています。

この市民ワークショップは、今回と併せて3回を予定しており、理想の庁舎像に向けてご意見をいただき、計画に反映させながら庁舎整備を進めていきますのでよろしくをお願いします。



Program 2 基本構想の概要説明等

これまでの経過

新庁舎の検討は、平成19年度に第1次総合計画に位置づけ、基金を設置しました。しかし、世界金融危機により財政の悪化を懸念し、福祉施策などを優先するため計画を一時凍結しました。

その後、平成28年4月発生 of 熊本地震により、防災拠点としての庁舎の在り方を再度見直す機会が生まれ、平成30年度に基本構想を策定し、現在基本計画の策定を進めています。

亀山の現状

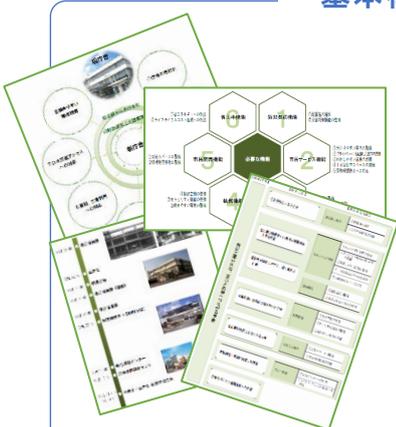
- ・人口は令和2年度をピークに減少し、40年後には46,000人を割り込む予想となっています。
- ・税金はピーク時と比べて49億円も減っており、今後も増収はあまり見込めません。
- ・公共施設(ハコモノ)や道路、橋など、今後改修や更新を行うには多額の費用が必要となり、現在の投資額から試算すると、その費用を60年間で25%削減していく必要があります。

基本構想の概要

市庁舎は昭和33年に建設され、その後増改築を繰り返しています。そのため、老朽化や狭あい化、機能の分散化など様々な課題が発生しています。

基本構想では『市民に開かれた、安心と希望へつながる庁舎』を基本理念とし、市民の安心・安全を支える防災や危機管理の拠点としての機能と耐震性を備えた庁舎、また新たなまちづくりの拠点として市民に開かれ、誰もが気軽に利用でき交流が生まれる庁舎となるよう整備していくことを目標としています。

新庁舎の整備スケジュールは、令和2年度末までに基本計画を策定し、令和3年度に建設地を決定します。その後用地取得や設計、建設工事を行い、令和10年度の開庁を目指しています。



Program 3 ワーク

A 班

4 班に分かれ、それぞれ次のような意見が出されました。



将来のまちの姿を考えよう！

「誰もが暮らしやすく、魅力のある街」 ←自然・歴史をもっとPR

観光地・魅力

観光地として魅力を発信

現在の亀山の宝を継続してほしい(自然・歴史含め)

若者・子ども

若い人が住みたいと思える魅力のあるまち

子どもがずっと好きになる街

小さいコミュニティ

いろんなところに賑わいが見つかるまち

交通

利便性の向上

明るくて利用しやすいまち
公共交通機関等

スムーズに移動できる
公共交通

高齢者

高齢者にやさしいまち

商業施設

商業施設のあるまち

大型ショッピングセンターがある

新庁舎の姿を考えよう！

「みんなが使いやすく、経済的な庁舎！」

災害に強い！

災害に強い立地 高い場所

土地がしっかりしている

外観 《明るく・経済的》

駐車場が広く1台あたりのスペースも大きいこと

ランニングコストが少なくすむ庁舎

気軽に立ち寄れる庁舎
(開放的な建物)

市民にやさしい！

市民の交流スペースがある

子育てしやすいように補助金を出すとか、託児所を設ける

誰もがどんな相談にも来れる場所

コンパクトな構造で

来庁者が使いやすい！

使いやすい

一目でわかる窓口

ワンフロアで完結できる

庁内の動線がうまく考えられること

B 班

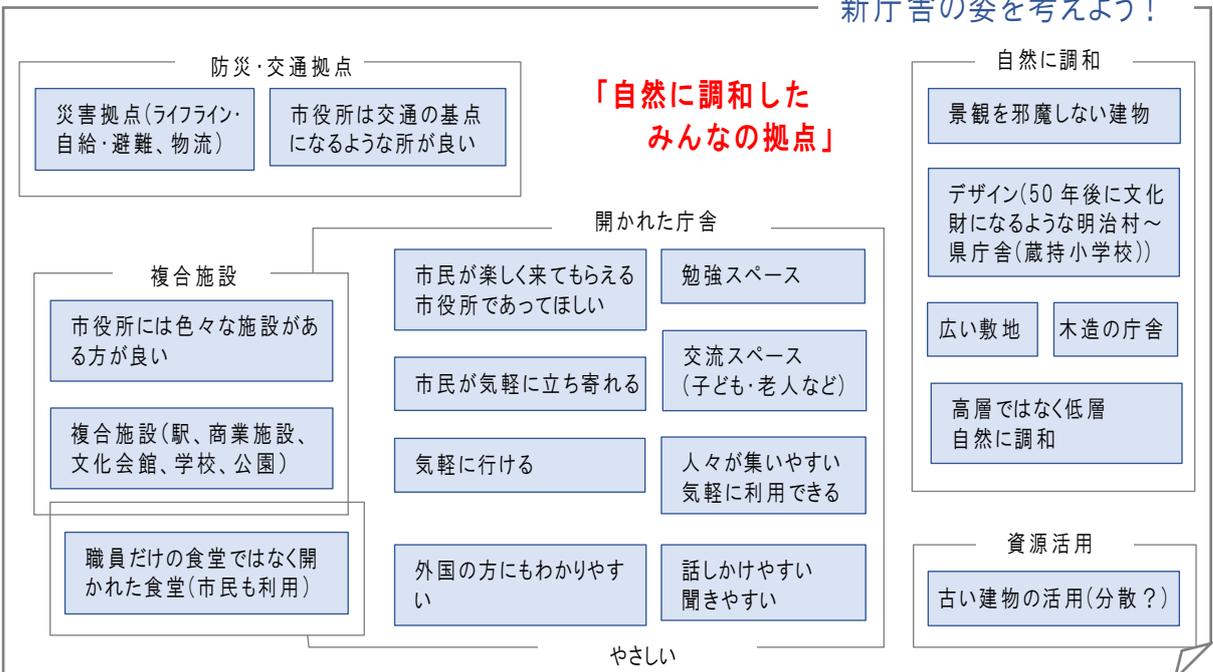


将来のまちの姿を考えよう！

「自然が豊かで子供も高齢者も笑顔があふれる “まち、”」



新庁舎の姿を考えよう！



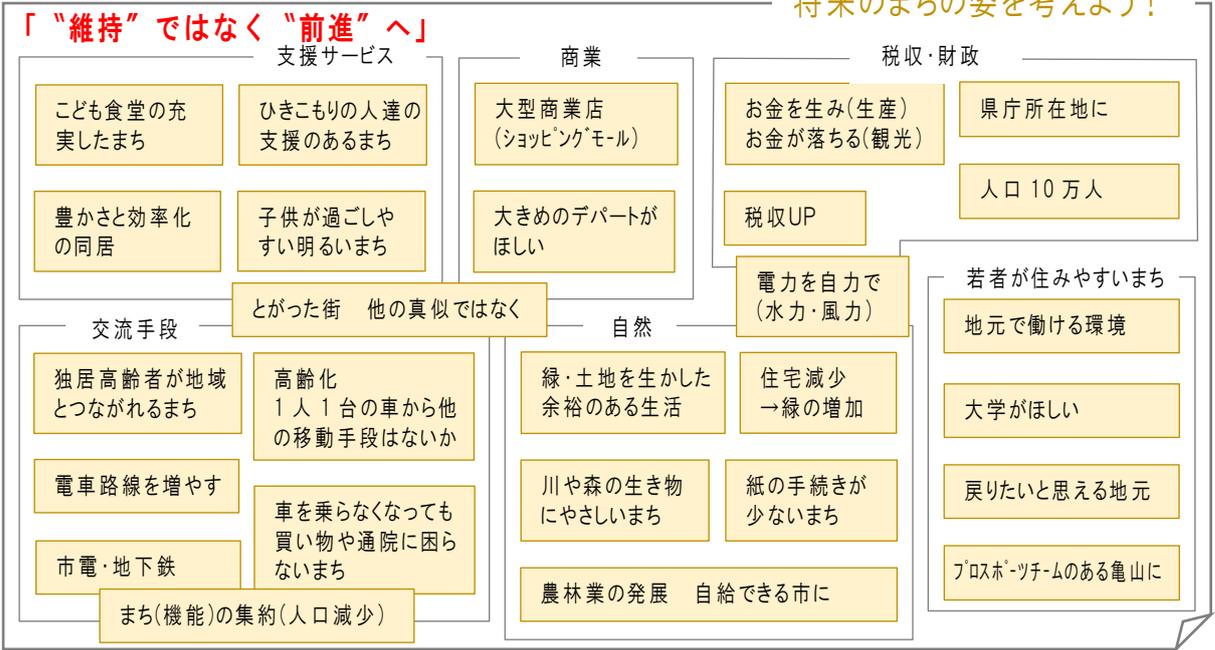
C 班



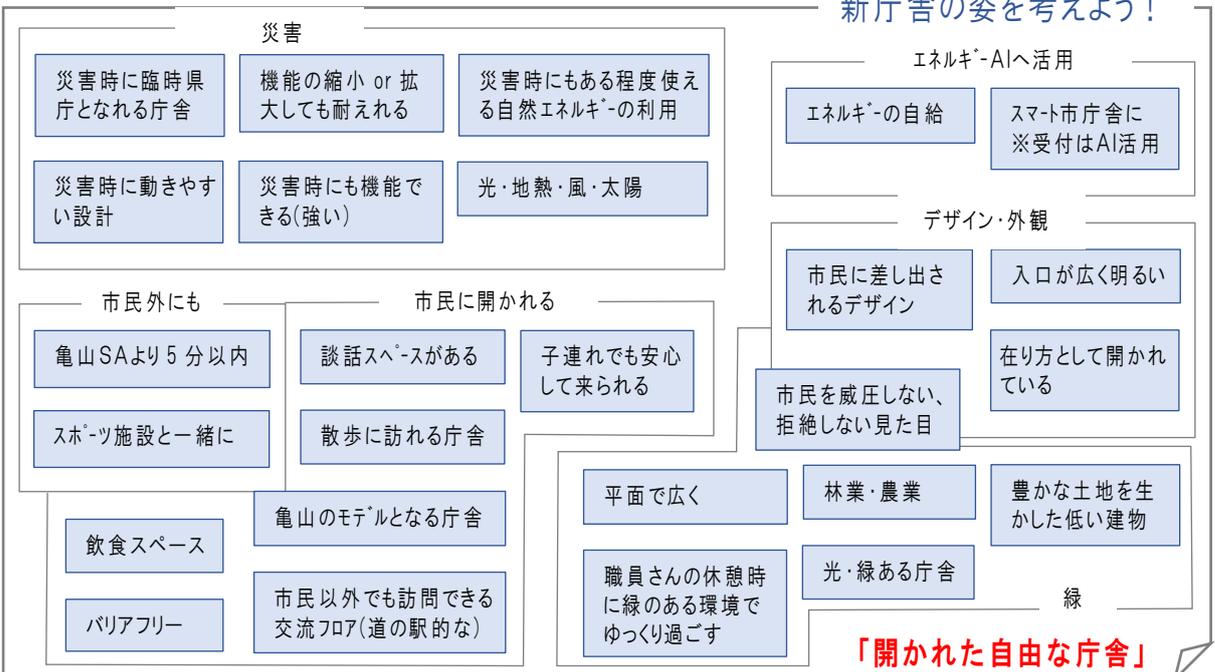
とがった街 他の真似ではなく



将来のまちの姿を考えよう！



新庁舎の姿を考えよう！



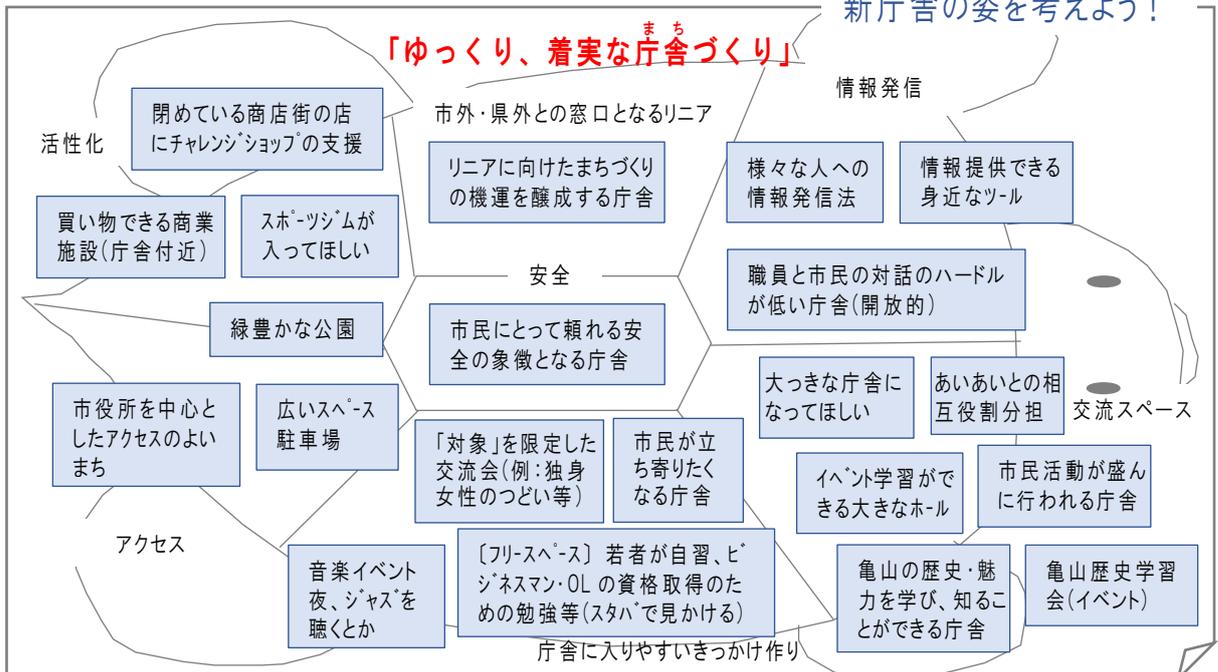
D 班



将来のまちの姿を考えよう!



新庁舎の姿を考えよう!



Program 4 小松委員長の講評



将来像を思い浮かべていただきましたが、手塚治虫が描いた鉄腕アトムの世界が現在ほぼ実現できていると言われるように、50年先にはキャッチフレーズにある市の姿が、皆様方が一致団結して努力すれば実現できるのではないかと思います。その時にあわせて、誰かがやってくれたらではなく、一部で構いませんから自分は何ができるかも考えてみてはと思いました。いかがでしょうか。

庁舎の姿については、これからAI技術が進展し、また通信技術が5G、6Gという超高速化する時代に、「市庁舎は将来も必要か？」という意見も他所では聞こえます。同じ場所にいなくても情報のやりとりができれば市庁舎は小さくできるのではないかとありますが、今回のワークショップの意見では、将来像に対して市庁舎は必要であるという意見でした。また、「外観」「災害に強い」「使いやすさ」についての意見がありました。皆さんがイメージするその市庁舎は新築でしょうか？氷見市のように高校の廃校を市庁舎に転用した例もあります。これは亀山でもという意味ではありませんが、亀山市と人口規模が同じである氷見市がリノベーション、コンバージョンという方法で素敵な市庁舎をつくったように、亀山市の新庁舎にもさまざまな可能性があると考えています。ですので、新庁舎のあり方については発想豊かな市民の皆様の意見を積極的に取り入れていきたいと思っています。

さて、次回からはより具体的な意見をいただくため、ワークを始める前に大きく4つのテーマをお伝えしておこうと思います。

- ①新庁舎でどんなことができると良いか（サービスや活動内容など）。
- ②そのサービスや活動は誰が担うのか。行政職員だけか。
- ③そのために望ましい環境、デザインは何か。
- ④新庁舎まで8年、どのようなプロセスを進めたら良いか、市民の皆様がどのように関わっていけばよいか。さらに竣工後の運用についても。

次回参加いただける方は、このようなテーマについて意見を温めていただければと思います。本日はありがとうございました。

今後のワークショップのご案内

参加者募集中

下記のとおり、テーマを変えてワークショップを実施していますので、ぜひご参加ください。

| 回 | 内容 | 開催日 | 場所 |
|-----|---------------------------|---------------|-------------|
| 第2回 | 新庁舎整備に対するあなたの提案をお聞かせください！ | 令和元年11月9日(土) | あいあい2階 大会議室 |
| 第3回 | 市民交流が深まる新庁舎を考えよう！ | 令和元年11月24日(日) | 関支所3階 大会議室 |

※各回とも午前10時～正午（受付は午前9時30分～）

- 参加要件：亀山市内に在住・在勤・在学する人または市内で事業を行う人
- 申込方法：電話、FAX、電子メールでお申込みください。

総合政策部 財務課 契約管財グループ
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577
TEL:0595-84-5025 FAX:0595-82-9955
E-Mail:keiyakukanzai@city.kameyama.mie.jp